

---

# おーまえがいる (Oh , My Girl)

pm\_314

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

おーまえがいる (Oh, My Girl)

### 【コード】

N8865F

### 【作者名】

p\_m\_314

### 【あらすじ】

適当な恋愛小説を書こうとして、題名が「お前がいる」にしたくなって、連呼してたら親に「あんたも年頃ね」とか言われ、理由を考えてたら。ohmygirlに発音が似ているという。どこかの誰かさんが知ってそうな雑字を見つけたのであった。というのは作者の説明でした。はい俺うぜー。あらすじ簡単に言いますと、・・・恋？みたいな？はい、ふざけてましたすみません。もてない男が恋愛に四苦八苦するストーリーです。ちよっぴり嘘っぽいかも。まあ気にせず、読んでいただけたらうれしいです。

## どっぴりでもありそつなありきたりな1話

俺があいつを気にし始めたのは、中学2年生の終わりのころ。

もつじき親が勉強勉強!と、騒ぎ出す時期でもあった。

といつても、今言ったことは少し嘘なんだ。

きつかけは、友人のある一言からだった。

(「お前ってさ、顔もよくないし、性格もそんなによくもないし、彼女とか、一生できんのじゃね?」)

「彼女」

この四文字は、俺にとっては縁のないものだった。

運がないっていうか、俺が好きになった子には、いつも彼氏がいた。

その度ショック受けて、けど開き直って、また恋をして。

そんなことを繰り返していて、ようやく分かった。

「俺に、彼女は出来ない！」

友人に言われたとき、俺はきっぱりとこう言った。

けれど、欲しくないわけでもなく、言った後に少し悲しくなる。

そんな時、友人はこう言った。

「彼女出来たら、10000円やるわ。」

こいつ、ふざけてんのか？と思った。金で釣るなら万単位だろうって問題はそこではなく

て。彼女のいる友人に、そう言われることがどこか悔しくて。

「乗った！！！！！！」

バカな俺は、返事をした。

彼女を作る、と言ってはみたものの、問題はいくつもある。

「まず、俺変わらなきゃダメか？」

「なぜ俺に聞く。」

いつの間にか声に出ていたようだ。いつも一緒帰ってるクールな男子学生に聞かれていた

ようだ。

(こいつ口堅いし、聞いてみるか。)

「なあ、俺って彼女できると思っっ？」

「お前彼女いなかったのか。ああ、そっぴやそっぴや話してこないな。」

「……でっどっどっ思っっ？」

「さあ？出来るんじゃないの、普通にすれば。」

「普通って、例えばどんなの。」

「じゃあまず、エロいの直せ。」

「っあれは、ウケ狙いでやってんだよ!」

「入学した時からそんなのしてるから、第一印象がエロスなんだよ。」

「そりゃ分かるけどさ・・・」

「まあお前はもとが結構面白いから、あとは適度な暮らすとの交流をしてれば自然とお前

に惹かれてく女子は出てくるって。じゃ、また明日。」

「あ、うん。ばいばい。」

エロ封印と適度な交流か・・・。

この会話は、俺の人生にのちになって大きな影響を与えてくる。

ま、近い未来なんだが。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8865f/>

---

おーまえがいる ( Oh , My Girl )

2010年10月10日05時13分発行